

令和5年度の土気南小学校の教育活動がスタートしました。

本校の学校教育目標は、「豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」です。

めざす子どもの姿は、「思いやりのある子」「進んで学ぶ子」「健康でたくましい子」です。

思いやりのある子（徳育）

- 相手のことを思いやり尊重する子
- 自分のことも相手のことも大切にする子
- 自分のよさや相手のよさを見つける子
- 感謝の気持ち「ありがとう」を大切にする子

進んで学ぶ子（知育）

- 好奇心を持ち、主体的に考え学ぶ子
- 学んだことを次の学びに生かす子
- 自分の考えや思いを表現し、
コミュニケーションを図る子



健康でたくましい子（体育）

- 安全に気を付け、心身の健康づくりに励む子
- 様々な困難や課題を乗り越えていく子
- 外遊びを楽しみ、進んで運動に親しむ子

めざす学校の姿は、「目を輝かせ笑顔あふれる学校」「安心・信頼できる学校」「働きがい・生きがいのある学校」です。

目を輝かせ笑顔あふれる学校（児童）

- 一人一人のよさや可能性を大切にし、伸ばす学校
- 学習において「わかる」「できる」を実感できる学校

安心・信頼できる学校（保護者・地域）

- 家庭や地域との信頼関係のもと、その教育力を生かす学校
- 安全安心で信頼される学校、ふれ合い・学び合い・開かれた学校



働きがい・生きがいのある学校（教師）

- 職員が個々のよさを発揮し、協力し合い教育活動に取り組む学校（職場）
- 互いに磨き合い、高め合い、成長し合うこのできる学校（職場）

今年度の学校経営の重点の一つ目として、子ども一人一人の特性や個性の理解に努め、その子のよさを伸ばす教育を推進していきます。

二つ目として、教職員と児童、児童同士の心のふれあいを通じた信頼関係や人間関係の構築に努めていきます。

三つ目として、児童が「わかる」「できる」を実感できる授業づくりに努めます。そのため

に、ICTを活用した新しいスタイルの学校教育を推進していきます。

四つ目として、異学年交流活動や特別支援学級との交流活動など、多様性を認め合い、思いやりをはぐくむ交流活動の充実を図ります。また、千葉県社会福祉協議会の「ボランティア活動推進協力校」の指定（3年目）を受けていますので、勤労奉仕の心をはぐくむボランティア教育も推進していきます。

五つ目として、国際感覚の基礎を培い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる外国語教育・国際理解教育を推進していきます。本校は、千葉県教育委員会の研究指定（外国語活動・外国語・国際理解教育）を受け2年目になります。

六つ目として、家庭・地域との相互理解に努め、信頼関係を構築し地域の教育力を学校に生かすようにしていきます。昨年度、学校地域支援本部事業を立ち上げました。

本校はこれまで、挨拶「オ・ア・シ・ス」（おはよう・ありがとう・失礼します・すみません）を大切にしてきました。挨拶はコミュニケーションの基本です。引き続き、気持ちのよい挨拶ができるよう指導してまいります。 **合言葉『オアシスに笑顔広がる土気南』**

4月11日現在の児童数は、1年生が133名で4クラス、2年生が139名で4クラス、3年生が104名で3クラス、4年生が125名で4クラス、5年生が133名で4クラス、6年生が109名で3クラス、ひまわり学級が9名で3クラスです。合計752名で、25クラスになります。教職員は44名、給食委託業者天竜さんスタッフ10名、総勢54名になります。

本校では、めざす教職員の姿として『子ども一人一人を大切に、良さや可能性を伸ばす教職員』を掲げ、教育活動に取り組んでまいります。子どもたちの可能性を最大限に引き出し、笑顔あふれる学校を創っていくためには、保護者の皆様や地域の皆様と手を携え、力を合わせていくことが何よりも大切になります。全職員が子どもの健全な成長のために全力で指導してまいりますので、ご支援とご協力をお願いします。

「み」 みんなちがって、みんないい（個性の尊重）
「な」 なないろに（多様性の尊重）
「み」 みんなかがやけ（個性の伸長）

【校章について】

全体の線は、土気の「土」を表すと共に、山辺郡の山、九十九里から屹立する土気の地形、更に歴史的に由緒ある大椎城の土塁を意味します。そして、中央に南の字を配して学校の位置を示し、これを囲む鋭い三角形もって、子どもたちが杉の如くたくましく健やかに成長することを願っています。

